

復活！！山梨県老健大会

山梨県老人保健施設協議会
会長 福田 六花

山梨県介護老人保健施設協議会の皆様、毎日オツカレサマです。2020年から全世界を翻弄し続けたコロナ渦はまだまだ終焉とは云えませんが、全世界が次のステージに入りました。わが国も世界の潮流からはだいぶ遅れましたが、様々な行動制限がほぼ撤廃されました。そうなれば老健大会を復活させましょう。

コロナ渦にあって山梨県老健大会は2020年が中止。2021年は事例集の作成。2022年は事前収録によるリモート開催と云うカタチでなんとか開催しましたが、今年は4年ぶりに集合形での開催が出来るようになりました。老健大会は大切な”お祭り”です。老健の仲間が一堂に会して様々な意見交換を行うことで、大きく温かい力が生まれ、明日への活力が湧きあがります。

老健大会を開催する意義とは何でしょうか？老人介護の現場で日々奮闘する皆さんの努力から新しい“取り組み”が生まれます。新しく生まれた取り組みは、ある程度実践したら必ず振り返ってください。その取り組みは果たして有効だったのかを確認してください。確認する視点は様々です。老健を利用するお年寄りの幸せに寄与することが出来たのだろうか？業務の安全性を高めることが出来たのだろうか？職員の負担を減らすことが出来たのだろうか？職員のモチベーションを高めることは出来たのだろうか？経費の節約は出来たのだろうか？

素晴らしい効果が確認出来たなら、その成果を是非とも発表してください。素晴らしい取り組みを多くの施設で共有しましょう。老健大会で観た素晴らしいと感じた取り組みは、自分の施設に持ち帰って実践してみてください。素晴らしい取り組みが多くの施設で行われれば、多くのお年寄りの幸せを増やすことになるのです。老健大会は大切な情報交換(情報共有)の場所なのです。

開催に向けて頑張り続けた研修委員の皆様のご努力と、現場が忙しいなか演題発表に取り組んでくれた演者の皆様と、老健大会への派遣を承認頂いた各施設の皆さまに心から感謝します。

「復活！！山梨県老健大会。みんなで盛り上げましょう。」